

播磨病院糖尿病教室



健診データのやさしい診方

～健診受診時に役立ちます～

播磨病院 臨床検査科

松浦 三智子

①貧血

②肝機能

③腎機能・痛風

④糖尿病

⑤循環器（脂質）

①貧血検査

赤血球は骨髄で作られ全身の細胞に酸素や栄養などを運搬する働きをします。出血など何らかの原因で数の減少や形の異常が現れてきます。

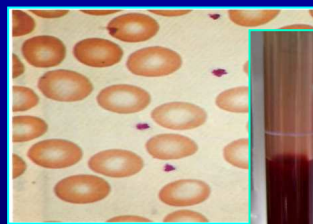
**赤血球数
(RBC)**

**血色素量
(Hb)**

**ヘマトクリット
(Ht)**

考えられる疾患

- 鉄欠乏性貧血
- 悪性貧血
- 消化管出血



②肝機能検査

AST (GOT)

γ-GTP

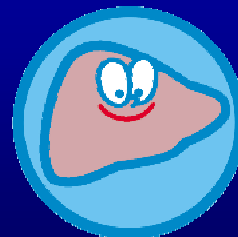
ALP

ALT (GPT)

肝細胞や胆管などにある酵素です。ウィルス感染などで肝細胞が破壊されたり、胆管、胆嚢に異常があると数値が上がります。

考えられる疾患

- 肝炎
- アルコール性肝障害 (γ-GTP)
- 脂肪肝
- 胆石症



③腎機能・痛風

尿蛋白・潜血

尿素窒素 (BUN)

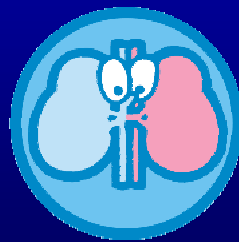
クレアチニン (CRE)

尿酸 (UA)

腎臓が悪くなると、尿蛋白や潜血が (+) となったり、老廃物が排泄されなくなりBUN、CREやUAが高値となります。また尿酸値が高いと関節に結晶がたまり痛風の原因となります。

考えられる疾患

- 急性・慢性糸球体腎炎
- ネフローゼ症候群
- 脱水、消化管出血 (BUN)
- 痛風 (UA)



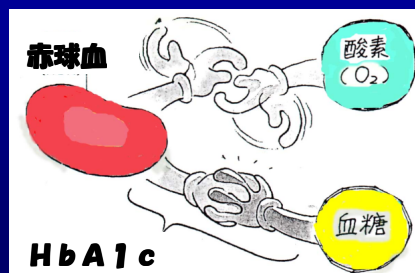
④糖尿病

血糖

HbA1c

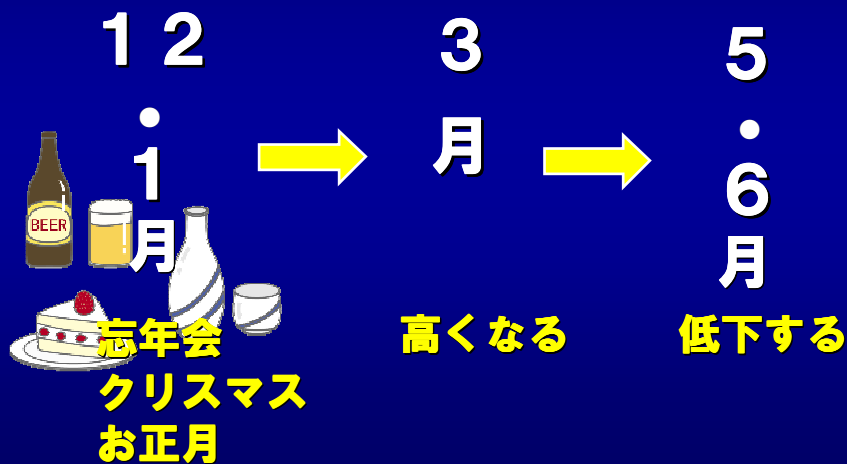
尿糖

血糖はインシュリン分泌不足や抵抗性があると高くなります。またHbA1cは血糖値の高い状態が持続した場合、高くなります。尿糖は血糖値が高くなり、腎臓での再吸収の能力を超えた場合 (+) となります。



HbA1c

1～2ヶ月前の血糖コントロール状態



⑤循環器（脂質）

総コレステロール

HDL
コレステロール

善玉

LDL
コレステロール

悪玉

中性脂肪（TG）

悪玉のLDLコレステロールは増えすぎると血管内膜や細胞に付着して、心筋梗塞や脳卒中の引き金になります。

関連する疾患

- 心筋梗塞
- 脳梗塞
- 閉塞性動脈硬化症



LDLコレステロールの求め方

(フリーデワルドの計算式)

$$\text{総コレステロール} - \text{HDLコレステロール} - \frac{\text{中性脂肪(TG)}}{5}$$

ただし中性脂肪(TG)が400mg/dl以上になると正確ではありません。

頚動脈エコー検査

ベッドで安静にして頚部にプローブをあてるだけの簡単な検査です

頚動脈の動脈硬化性病変(プラーク)の性状、石灰化の程度を調べます。



脈波図検査

手足の血圧を測定する
だけの簡単な検査です



動脈硬化により下肢動脈が硬くなっていないか、閉塞が起こっていないか、簡単にわかります。

高血圧 肥満 高脂肪 耐糖能異常

ご静聴ありがとうございました。

